



新学期が始まったと思ったのも束の間、臨時休業という事態になり、生活のリズムが取れないでいる人もいるのではないのでしょうか。家に閉じこもっていると不安になったりもするでしょう。けれど逆に、いつもとは違う時間の使い方ができると考えてみましょう。テレビやインターネット、新聞などでは、おうち時間の使い方がたくさん紹介されています。体を動かしたり、お家のお手伝いをしたり……。いつものできないことを楽しんでみてください。

今こそ読書

おうち時間の使い方の一つとして、今回の図書館だよりでは「今こそ読書」を提案したいと思います。高校生になって全然本を読まなくなってしまった、という人はぜひ、1冊でいいのでこの機会にじっくり腰を据えて読んでみてください。

語彙が増える。知識が深まる。想像力が豊かになる……。

はっきり言って、プラス面しかありません。

ネットで聴く

スマホやパソコンの画面で長時間文字を追うのは辛い。という人は「聴く」というのもひとつの手です。

Twitter上では、声優さんたちが外出自粛の親子に向けて童話などを中心に読み聞かせをしてくださっています（#せいゆうろうどくかい）。また、「青空朗読」(<http://aozoraroudoku.jp/>)では、アナウンサーなどによる朗読を聴くことができます。

よい声を聴くと、心が癒されますね。

ネットで読む

おうちに本がない。という人はインターネットで無料公開されているものを読んでみてください。「青空文庫」(<http://www.aozora.gr.jp/>)では、著作権の切れた作品と、自由に読んでもらってかまわないという作品が公開されています。

教科書でもお馴染みの芥川龍之介は376作品、夏目漱石は110作品が公開されています。教科書掲載以外の作品も読んでおくと、授業でより深く学べるのではないのでしょうか。



今月のオススメ

PN 司書

「蜘蛛の糸」

芥川龍之介

このコーナーでは毎月1つ、オススメの作品や本を紹介していきたいと思います。

今月のオススメは芥川龍之介の「蜘蛛の糸」です。小さい頃に読んだり聴いたりした人も多いと思いますが、読み返してみるとまた違った見え方ができるかも。「青空文庫」「青空朗読」「#せいゆうろうどくかい」で読んだり聴いたりすることができます。

返却期限のお知らせ

